

# 東京薬科大学新聞

# No.147

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

6月号 第147号 1988 東京薬科大学新聞会

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 嶋村 信孝

## 今号の内容

- 第一面... 新執行委員の決意表明  
新聞会新会長あいさつ  
机と椅子が広がるかも？
- 第二面... 音楽棟問題  
執行委員長に聞く  
学生大会主な議案

# 新委員長 副委員長の決意表明

五月末に行われた学生自治会選挙によって、新執行委員長に山田敬正君（二年）が、副執行委員長に近藤晃朗君（二年）と嶋田好枝さんが（二年）の二人が決まった。六月から活躍している彼らに今後の抱負を語ってもらった。

### 山田 敬正

私が今年度の執行委員長に就任した山田敬正です。昨年、一年間執行委員として活動し、我が校は多くの問題を抱えているということがわかりました。第一に部室棟問題があり、最近よく言われるように「ヒューマンズム」あふれる医療関係者の育成のためには講義や実習以外のプラスαが必要で、そのために各クラブ活動が円滑に行える体制を是非とも作りだしたいと思っています。

### 嶋田 好枝

この度、副執行委員長に就任いたしました嶋田好枝です。執行委員会と聞くと駐車証の発行や部室棟、各会議室の使用許可を行っている所、と連想される方が多いことと、意見を載せていきたいと考へてます。そのため、今までの勉強不足を反省し、新聞の書き方と精神を学んで行き広報としての立場を忘れないように努めて行きたいと思っています。新聞会にはこれから様々な試みを意識的にしていくかと思っております。どうか暖かい目で、時には厳しい目を持って見て頂きたいとおもいます。最後に新聞会のあるべき姿勢や意見がありましたら、ぜひともお願い致します。

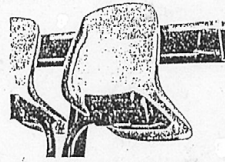
### 新聞会 新会長あいさつ

今回の号から新聞会は執行交代をし、自分達で7代目となり、安定とさらなる発展を目指して行かなければならないと考えています。今年度は時間の許す限り、出来るだけ内容の濃い特集に読んで頂いて何か残せるようなそんな文を

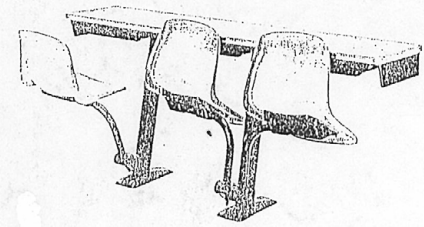
## 決意表明

新時代に対応した大学教育とは言えません。第三には交通問題があり、学生は通学方法も一昔前とは大きく変化し、神奈川や町田方面などの学生は不便を強いられています。厳しいカリキュラムをこなすためにももう一度交通問題を調査し直すように強く大学側に要求したいと思います。

プロファイル  
山田敬正（やまだ よしまさ）  
東京都墨田区出身、私立日本大学豊山高校卒、現在合唱団に所属、趣味は旅行、



机を少し浮かすと、背が自動的に前へ倒れ、うしろ側二人の通るのに十分な空間ができます。内側の人の肩幅が拡大便です。



より良い机と椅子を  
—教育三号棟に於いての協議会—  
六月十一日（土）学生と大学の間に「教育三号棟」についての協議会が行われたが、議題の一つに机の広さや机と棚の間の幅などについての質問があった。この際、現在設置予定の机と椅子の図が公表された。

側がそれに添えてくれるようである。この問題については七月六日（水）に行われるが、執行委員会ではこの件について意見を随時受け付けている。使用者である学生にとっては重要な問題である。これについては学生として執行委員会及び自治会に意見を申し出バックアップしてほしい。

全学生の協力をおねがいいたします。  
山田敬正（やまだ よしまさ）  
東京都墨田区出身、私立日本大学豊山高校卒、現在合唱団に所属、趣味は旅行、

プロファイル  
近藤晃朗（こんどう あきら）  
東京都世田谷区出身、私立暁星高校卒、現在陸上競技部の所属、趣味は映画鑑賞で最近鑑賞した映画は「ミツバチのささやき」

## 薬味

JRから夏の臨時列車計画第二弾が発表された。それによると、カイトレイン北海道がよいと運行される。フェリード（三十八時間）（東京）（吉小牧）もかかるころを大幅に短縮して十八時間で結ぶ。もちろん、開業したの青函トンネルを経由する。青函トンネルを握るに当たっては、調査や実験の工事の傍では、北海道福島町にある青函トンネル記念館で見ることもできる。しかし、記念すべき大工事の完成を喜ぶ一方、コンクリートの海水の塩分による侵食が心配されている。◆これからは北海道特有の植物が咲きみだれ、厳しい冬の寒さの分だけ美しい景色となる。そしてビール片手にジーンズスカンをつつく、そんな人々で賑わうだろう。◆一方で、迷惑なのは地元の人たちである。都会からバイクや自動車やバイク、騒音と排気ガスとゴミをまき散らして去ってゆく観光客。◆はてはの地に来て、何もないうやんぎょやアホな事をいうパブリシティや、あるいははてはの地に竹下通りがあるとも思っているのだろうか。◆列車の中での学生グループの始末も悪い。まるで自分たちの専用列車だと思っているかのよう。ラジカセを鳴らして騒ぎまくる。車掌が注意するのを何回みたことか。◆近年の若年階層に顕著な常識の欠如。一体、何が悪いのだろうか。学歴社会が悪いのか、文部省が悪いのか、親が悪いのか。◆七月十六日から夏休みに入りクラブやサウナの会合で集って出かける機会が増える。しかし、どんなときも他人の迷惑を考え、年齢相応の常識を弁えた行動をとってほしいと願うばかりである。こんなことを考えているのは私だけであろうか。

（D）

プロファイル  
嶋田好枝（しま 好枝）  
神奈川県大和市出身、神奈川県立座間高校卒、現在やきものクラブ所属、趣味は車で海を見に行くこと。  
\*執行委員会名簿による

よく、多くの方の意見を聞き、常に学生共通の課題に取り組んでいます。  
私は学生選挙によって副執行委員長に選出されたわけですが、まだ大学内部のことについては多くを知りません。しかし、これからの一年間の活動を通して大学側の方々の先遣方として一年生と様々な人と接することに、いろいろな意見を聞き、それを反映させていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

プロファイル  
近藤晃朗（こんどう あきら）  
東京都世田谷区出身、私立暁星高校卒、現在陸上競技部の所属、趣味は映画鑑賞で最近鑑賞した映画は「ミツバチのささやき」

プロファイル  
山田敬正（やまだ よしまさ）  
東京都墨田区出身、私立日本大学豊山高校卒、現在合唱団に所属、趣味は旅行、

新執行委員長  
山田 敬正  
私が今年度の執行委員長に就任した山田敬正です。昨年、一年間執行委員として活動し、我が校は多くの問題を抱えているということがわかりました。第一に部室棟問題があり、最近よく言われるように「ヒューマンズム」あふれる医療関係者の育成のためには講義や実習以外のプラスαが必要で、そのために各クラブ活動が円滑に行える体制を是非とも作りだしたいと思っています。

この度、副執行委員長に就任いたしました嶋田好枝です。執行委員会と聞くと駐車証の発行や部室棟、各会議室の使用許可を行っている所、と連想される方が多いことと、意見を載せていきたいと考へてます。そのため、今までの勉強不足を反省し、新聞の書き方と精神を学んで行き広報としての立場を忘れないように努めて行きたいと思っています。新聞会にはこれから様々な試みを意識的にしていくかと思っております。どうか暖かい目で、時には厳しい目を持って見て頂きたいとおもいます。最後に新聞会のあるべき姿勢や意見がありましたら、ぜひともお願い致します。

今回の号から新聞会は執行交代をし、自分達で7代目となり、安定とさらなる発展を目指して行かなければならないと考えています。今年度は時間の許す限り、出来るだけ内容の濃い特集に読んで頂いて何か残せるようなそんな文を

新聞会 新会長あいさつ

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 嶋村 信孝

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

昭和63年6月29日発行 第147号

東京薬科大学新聞

No.147

第一面... 新執行委員の決意表明

新聞会新会長あいさつ

机と椅子が広がるかも？

第二面... 音楽棟問題

執行委員長に聞く

学生大会主な議案

五月末に行われた学生自治会選挙によって、新執行委員長に山田敬正君（二年）が、副執行委員長に近藤晃朗君（二年）と嶋田好枝さんが（二年）の二人が決まった。六月から活躍している彼らに今後の抱負を語ってもらった。

新執行委員長

山田 敬正

私が今年度の執行委員長に就任した山田敬正です。昨年、一年間執行委員として活動し、我が校は多くの問題を抱えているということがわかりました。第一に部室棟問題があり、最近よく言われるように「ヒューマンズム」あふれる医療関係者の育成のためには講義や実習以外のプラスαが必要で、そのために各クラブ活動が円滑に行える体制を是非とも作りだしたいと思っています。

この度、副執行委員長に就任いたしました嶋田好枝です。執行委員会と聞くと駐車証の発行や部室棟、各会議室の使用許可を行っている所、と連想される方が多いことと、意見を載せていきたいと考へてます。そのため、今までの勉強不足を反省し、新聞の書き方と精神を学んで行き広報としての立場を忘れないように努めて行きたいと思っています。新聞会にはこれから様々な試みを意識的にしていくかと思っております。どうか暖かい目で、時には厳しい目を持って見て頂きたいとおもいます。最後に新聞会のあるべき姿勢や意見がありましたら、ぜひともお願い致します。

今回の号から新聞会は執行交代をし、自分達で7代目となり、安定とさらなる発展を目指して行かなければならないと考えています。今年度は時間の許す限り、出来るだけ内容の濃い特集に読んで頂いて何か残せるようなそんな文を

新聞会 新会長あいさつ

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 嶋村 信孝

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

昭和63年6月29日発行 第147号

東京薬科大学新聞

No.147

第一面... 新執行委員の決意表明

新聞会新会長あいさつ

机と椅子が広がるかも？

第二面... 音楽棟問題

執行委員長に聞く

学生大会主な議案

五月末に行われた学生自治会選挙によって、新執行委員長に山田敬正君（二年）が、副執行委員長に近藤晃朗君（二年）と嶋田好枝さんが（二年）の二人が決まった。六月から活躍している彼らに今後の抱負を語ってもらった。

新執行委員長

山田 敬正

私が今年度の執行委員長に就任した山田敬正です。昨年、一年間執行委員として活動し、我が校は多くの問題を抱えているということがわかりました。第一に部室棟問題があり、最近よく言われるように「ヒューマンズム」あふれる医療関係者の育成のためには講義や実習以外のプラスαが必要で、そのために各クラブ活動が円滑に行える体制を是非とも作りだしたいと思っています。

この度、副執行委員長に就任いたしました嶋田好枝です。執行委員会と聞くと駐車証の発行や部室棟、各会議室の使用許可を行っている所、と連想される方が多いことと、意見を載せていきたいと考へてます。そのため、今までの勉強不足を反省し、新聞の書き方と精神を学んで行き広報としての立場を忘れないように努めて行きたいと思っています。新聞会にはこれから様々な試みを意識的にしていくかと思っております。どうか暖かい目で、時には厳しい目を持って見て頂きたいとおもいます。最後に新聞会のあるべき姿勢や意見がありましたら、ぜひともお願い致します。

今回の号から新聞会は執行交代をし、自分達で7代目となり、安定とさらなる発展を目指して行かなければならないと考えています。今年度は時間の許す限り、出来るだけ内容の濃い特集に読んで頂いて何か残せるようなそんな文を

新聞会 新会長あいさつ

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 嶋村 信孝

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

昭和63年6月29日発行 第147号

東京薬科大学新聞

No.147

第一面... 新執行委員の決意表明

新聞会新会長あいさつ

机と椅子が広がるかも？

第二面... 音楽棟問題

執行委員長に聞く

学生大会主な議案

五月末に行われた学生自治会選挙によって、新執行委員長に山田敬正君（二年）が、副執行委員長に近藤晃朗君（二年）と嶋田好枝さんが（二年）の二人が決まった。六月から活躍している彼らに今後の抱負を語ってもらった。

新執行委員長

山田 敬正

私が今年度の執行委員長に就任した山田敬正です。昨年、一年間執行委員として活動し、我が校は多くの問題を抱えているということがわかりました。第一に部室棟問題があり、最近よく言われるように「ヒューマンズム」あふれる医療関係者の育成のためには講義や実習以外のプラスαが必要で、そのために各クラブ活動が円滑に行える体制を是非とも作りだしたいと思っています。

この度、副執行委員長に就任いたしました嶋田好枝です。執行委員会と聞くと駐車証の発行や部室棟、各会議室の使用許可を行っている所、と連想される方が多いことと、意見を載せていきたいと考へてます。そのため、今までの勉強不足を反省し、新聞の書き方と精神を学んで行き広報としての立場を忘れないように努めて行きたいと思っています。新聞会にはこれから様々な試みを意識的にしていくかと思っております。どうか暖かい目で、時には厳しい目を持って見て頂きたいとおもいます。最後に新聞会のあるべき姿勢や意見がありましたら、ぜひともお願い致します。

今回の号から新聞会は執行交代をし、自分達で7代目となり、安定とさらなる発展を目指して行かなければならないと考えています。今年度は時間の許す限り、出来るだけ内容の濃い特集に読んで頂いて何か残せるようなそんな文を

新聞会 新会長あいさつ

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 嶋村 信孝

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

昭和63年6月29日発行 第147号

東京薬科大学新聞

No.147

第一面... 新執行委員の決意表明

新聞会新会長あいさつ

机と椅子が広がるかも？

第二面... 音楽棟問題

執行委員長に聞く

学生大会主な議案

五月末に行われた学生自治会選挙によって、新執行委員長に山田敬正君（二年）が、副執行委員長に近藤晃朗君（二年）と嶋田好枝さんが（二年）の二人が決まった。六月から活躍している彼らに今後の抱負を語ってもらった。

新執行委員長

山田 敬正

私が今年度の執行委員長に就任した山田敬正です。昨年、一年間執行委員として活動し、我が校は多くの問題を抱えているということがわかりました。第一に部室棟問題があり、最近よく言われるように「ヒューマンズム」あふれる医療関係者の育成のためには講義や実習以外のプラスαが必要で、そのために各クラブ活動が円滑に行える体制を是非とも作りだしたいと思っています。

この度、副執行委員長に就任いたしました嶋田好枝です。執行委員会と聞くと駐車証の発行や部室棟、各会議室の使用許可を行っている所、と連想される方が多いことと、意見を載せていきたいと考へてます。そのため、今までの勉強不足を反省し、新聞の書き方と精神を学んで行き広報としての立場を忘れないように努めて行きたいと思っています。新聞会にはこれから様々な試みを意識的にしていくかと思っております。どうか暖かい目で、時には厳しい目を持って見て頂きたいとおもいます。最後に新聞会のあるべき姿勢や意見がありましたら、ぜひともお願い致します。

今回の号から新聞会は執行交代をし、自分達で7代目となり、安定とさらなる発展を目指して行かなければならないと考えています。今年度は時間の許す限り、出来るだけ内容の濃い特集に読んで頂いて何か残せるようなそんな文を

新聞会 新会長あいさつ

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 嶋村 信孝

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

昭和63年6月29日発行 第147号

東京薬科大学新聞

No.147

第一面... 新執行委員の決意表明

新聞会新会長あいさつ

机と椅子が広がるかも？

第二面... 音楽棟問題

執行委員長に聞く

学生大会主な議案

五月末に行われた学生自治会選挙によって、新執行委員長に山田敬正君（二年）が、副執行委員長に近藤晃朗君（二年）と嶋田好枝さんが（二年）の二人が決まった。六月から活躍している彼らに今後の抱負を語ってもらった。

新執行委員長

山田 敬正

私が今年度の執行委員長に就任した山田敬正です。昨年、一年間執行委員として活動し、我が校は多くの問題を抱えているということがわかりました。第一に部室棟問題があり、最近よく言われるように「ヒューマンズム」あふれる医療関係者の育成のためには講義や実習以外のプラスαが必要で、そのために各クラブ活動が円滑に行える体制を是非とも作りだしたいと思っています。

この度、副執行委員長に就任いたしました嶋田好枝です。執行委員会と聞くと駐車証の発行や部室棟、各会議室の使用許可を行っている所、と連想される方が多いことと、意見を載せていきたいと考へてます。そのため、今までの勉強不足を反省し、新聞の書き方と精神を学んで行き広報としての立場を忘れないように努めて行きたいと思っています。新聞会にはこれから様々な試みを意識的にしていくかと思っております。どうか暖かい目で、時には厳しい目を持って見て頂きたいとおもいます。最後に新聞会のあるべき姿勢や意見がありましたら、ぜひともお願い致します。

今回の号から新聞会は執行交代をし、自分達で7代目となり、安定とさらなる発展を目指して行かなければならないと考えています。今年度は時間の許す限り、出来るだけ内容の濃い特集に読んで頂いて何か残せるようなそんな文を

新聞会 新会長あいさつ

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 嶋村 信孝

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

昭和63年6月29日発行 第147号

東京薬科大学新聞

No.147

第一面... 新執行委員の決意表明

新聞会新会長あいさつ

机と椅子が広がるかも？

第二面... 音楽棟問題

執行委員長に聞く

学生大会主な議案

五月末に行われた学生自治会選挙によって、新執行委員長に山田敬正君（二年）が、副執行委員長に近藤晃朗君（二年）と嶋田好枝さんが（二年）の二人が決まった。六月から活躍している彼らに今後の抱負を語ってもらった。

新執行委員長

山田 敬正

私が今年度の執行委員長に就任した山田敬正です。昨年、一年間執行委員として活動し、我が校は多くの問題を抱えているということがわかりました。第一に部室棟問題があり、最近よく言われるように「ヒューマンズム」あふれる医療関係者の育成のためには講義や実習以外のプラスαが必要で、そのために各クラブ活動が円滑に行える体制を是非とも作りだしたいと思っています。

この度、副執行委員長に就任いたしました嶋田好枝です。執行委員会と聞くと駐車証の発行や部室棟、各会議室の使用許可を行っている所、と連想される方が多いことと、意見を載せていきたいと考へてます。そのため、今までの勉強不足を反省し、新聞の書き方と精神を学んで行き広報としての立場を忘れないように努めて行きたいと思っています。新聞会にはこれから様々な試みを意識的にしていくかと思っております。どうか暖かい目で、時には厳しい目を持って見て頂きたいとおもいます。最後に新聞会のあるべき姿勢や意見がありましたら、ぜひともお願い致します。

今回の号から新聞会は執行交代をし、自分達で7代目となり、安定とさらなる発展を目指して行かなければならないと考えています。今年度は時間の許す限り、出来るだけ内容の濃い特集に読んで頂いて何か残せるようなそんな文を

新聞会 新会長あいさつ

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 嶋村 信孝

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

昭和63年6月29日発行 第147号

東京薬科大学新聞

No.147

第一面... 新執行委員の決意表明

新聞会新会長あいさつ

机と椅子が広がるかも？

第二面... 音楽棟問題

執行委員長に聞く

学生大会主な議案

五月末に行われた学生自治会選挙によって、新執行委員長に山田敬正君（二年）が、副執行委員長に近藤晃朗君（二年）と嶋田好枝さんが（二年）の二人が決まった。六月から活躍している彼らに今後の抱負を語ってもらった。

新執行委員長

山田 敬正

私が今年度の執行委員長に就任した山田敬正です。昨年、一年間執行委員として活動し、我が校は多くの問題を抱えているということがわかりました。第一に部室棟問題があり、最近よく言われるように「ヒューマンズム」あふれる医療関係者の育成のためには講義や実習以外のプラスαが必要で、そのために各クラブ活動が円滑に行える体制を是非とも作りだしたいと思っています。

この度、副執行委員長に就任いたしました嶋田好枝です。執行委員会と聞くと駐車証の発行や部室棟、各会議室の使用許可を行っている所、と連想される方が多いことと、意見を載せていきたいと考へてます。そのため、今までの勉強不足を反省し、新聞の書き方と精神を学んで行き広報としての立場を忘れないように努めて行きたいと思っています。新聞会にはこれから様々な試みを意識的にしていくかと思っております。どうか暖かい目で、時には厳しい目を持って見て頂きたいとおもいます。最後に新聞会のあるべき姿勢や意見がありましたら、ぜひともお願い致します。

今回の号から新聞会は執行交代をし、自分達で7代目となり、安定とさらなる発展を目指して行かなければならないと考えています。今年度は時間の許す限り、出来るだけ内容の濃い特集に読んで頂いて何か残せるようなそんな文を

新聞会 新会長あいさつ

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 嶋村 信孝

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

昭和63年6月29日発行 第147号

東京薬科大学新聞

No.147

第一面... 新執行委員の決意表明

新聞会新会長あいさつ

机と椅子が広がるかも？

第二面... 音楽棟問題

執行委員長に聞く

学生大会主な議案

五月末に行われた学生自治会選挙によって、新執行委員長に山田敬正君（二年）が、副執行委員長に近藤晃朗君（二年）と嶋田好枝さんが（二年）の二人が決まった。六月から活躍している彼らに今後の抱負を語ってもらった。

新執行委員長

山田 敬正

私が今年度の執行委員長に就任した山田敬正です。昨年、一年間執行委員として活動し、我が校は多くの問題を抱えているということがわかりました。第一に部室棟問題があり、最近よく言われるように「ヒューマンズム」あふれる医療関係者の育成のためには講義や実習以外のプラスαが必要で、そのために各クラブ活動が円滑に行える体制を是非とも作りだしたいと思っています。

この度、副執行委員長に就任いたしました嶋田好枝です。執行委員会と聞くと駐車証の発行や部室棟、各会議室の使用許可を行っている所、と連想される方が多いことと、意見を載せていきたいと考へてます。そのため、今までの勉強不足を反省し、新聞の書き方と精神を学んで行き広報としての立場を忘れないように努めて行きたいと思っています。新聞会にはこれから様々な試みを意識的にしていくかと思っております。どうか暖かい目で、時には厳しい目を持って見て頂きたいとおもいます。最後に新聞会のあるべき姿勢や意見がありましたら、ぜひともお願い致します。

今回の号から新聞会は執行交代をし、自分達で7代目となり、安定とさらなる発展を目指して行かなければならないと考えています。今年度は時間の許す限り、出来るだけ内容の濃い特集に読んで頂いて何か残せるようなそんな文を

新聞会 新会長あいさつ

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 嶋村 信孝

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

